

安全データシート(SDS)

整理番号(SDS No.): SH-019

作成日: 平成27年 9月 1日

改定日: 令和5年 4月 3日

1. 製品名及び会社情報

製品名(化学名・商品名): ヘルメチックNo. CBS 7568
会社: 山王工業株式会社
住所: 東京都新宿区高田馬場2-4-23
担当部門: 山王工業株式会社 研究室
TEL: 03-3202-0071(代)
FAX: 03-3209-0186

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
健康に対する有害性

可燃性液体
発がん性のおそれの疑い
皮膚腐食性/刺激性
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

区分外
区分2
区分2
区分2A

GHSラベル要素



注意喚起語
危険有害性情報

警告
発がんのおそれの疑い

- 皮膚刺激
- 強い眼刺激

注意書き

- 医学的な助言が必要な際は製品容器やラベルを持っていくこと
- 子供の手の届かないところにおくこと
 - 使用前にラベルをよく読むこと
 - 粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をさけること
 - 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること
 - 眼、皮膚、または衣服に付けないこと
 - 環境への放出を避けること
 - この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと
 - 野外または換気の良い場所でのみ使用すること
 - すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
 - 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて用意に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
 - 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
 - 汚染した衣服を再使用する場合には洗濯すること
 - 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当を受けること
 - 眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当を受けること
 - 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと
 - 気分が悪い時は、医師に連絡すること
 - 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと
 - 37°C以下の温度で保管すること
 - 涼しい所/換気の良い場所で保管すること

- ・ 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物製品

成分名	化審法番号	CAS No.	含有量 %
ポリグリコールジメタクリレート	7-1438	25852-47-5	30 - 60
可塑剤		混合	15 - 30
非結晶質ヒュームドアモルファスシリカ	1-548	112945-52-5	3 - 6
サッカリン	5-198	81-07-2	1 - 5
キヌメンハイドロパーオキシサイド	3-1014	80-15-9	1 - 3

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗眼し、医師の診断を受ける。
- 皮膚に触れた場合 : 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使ってよく洗い落とす。
症状により医師の診断を受ける。
- 吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、安静を保つ。
症状により医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに吐き出させ、出来るだけ早く医療処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 火災発生場所の周辺には関係者以外の立入りを禁止する。
- ・ 火元への燃焼源を断ち、下記記載の消火剤を使用して消火する。
 - ・ 延焼の恐れのないよう周囲の設備等に散水して冷却する。
 - ・ 消火作業は風上から行い、自給式呼吸保護具を着用する。
- 消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素消火剤

6. 漏出時の措置

- ・ 漏出した場所の周辺には関係者以外の立入りを禁止する。
- ・ 風下の人を避難させる。
- ・ 消火用機材を用意する。
- ・ 作業の際には必ず適切な保護具を着用する。
- ・ 作業は必ず風上から行う。
- ・ 漏出液が少量の場合は、乾燥砂・土・おがくず・ウエス等に吸収させ密閉できる容器に回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い :
- ・ 火気、静電気、衝突火花などによる着火源が生じないように注意する。
 - ・ 空気中の湿気との加水分解反応により硬化するため、水分・湿気の混入に注意し容器開封後は、速やかに全量を使い切る。
 - ・ 静電気対策を行う。(装置・機器のアースをする。)
 - ・ 室内で取り扱う場合は、蒸気の発生源を密閉する設備、又は局所排気装置を設ける。
 - ・ 硬化時にアルコールが発生するので、吸入を防ぎ、目・粘膜・皮膚との接触を避ける。

- ・ 取扱いは保護眼鏡・保護手袋、必要に応じ適切な保護具を着用する。
 - ・ 容器を転倒させたり、衝撃を与える等の粗暴な取り扱いはしない。また、漏洩対策をとる。
 - ・ 取り扱い後は手洗い、洗顔を十分に行う。
- 保管 : 直射日光を避け、風通しのよい冷暗所に貯蔵する。耐火構造が望ましい。
- ・ 熱、高温物、スパーク、火炎を近づけない。静電気の蓄積を避ける。
 - ・ 保管場所で使用する電気製品は防爆構造とし、器具類は接地する。
-

8. 暴露防止措置

- 管理濃度 : 該当なし
許容濃度 : 日本産業衛生学会(1996年) 該当なし
- ・ ACGIH(1997年) 該当なし
- 設備対策 : 屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、又は局所排気装置を設置し作業者が暴露から避けられるような設備にする。
- ・ 取り扱い場所にシャワー・手洗い・洗眼設備を設け位置を明瞭に表示する。
- 保護具 :
- 呼吸保護具 : 有機ガス用防毒マスク、空気呼吸器等
 - 保護眼鏡 : ゴーグル・防災面等
 - 保護手袋 : ゴムまたはビニール手袋
 - 保護衣 : ゴム長靴、ゴム前掛け等
-

9. 物理/化学的性質

- 外観等 : 白色
臭気 : 特異臭あり
引火点 : 99℃以上
沸点 : 149℃以上
融点 : 該当なし
蒸気圧 : 5mmHG以下(27℃)
揮発性 : なし
比重 : 1.04(25℃)
初留点 : 該当なし
溶解度 : 水に不溶
その他 : データなし
-

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 本質的には安定だが、強酸・強アルカリの接触により重合あるいは分解がおこる。
- 重合危険性 : 重合による危険の恐れはない。
- 混触危険物質 : 酸化剤、熱、金属塩、アミン類、不活性ガス
- 危険有害な分解生成物 : データなし
-

11. 有害性情報

《人への健康影響》

- 皮膚腐食性 : データなし
刺激性 : データなし
感作性 : データなし
急性毒性(50%致死量を含む) : 経口毒性 LD50>10,000mg/kg(rat)
経皮毒性 LD50>5,000mg/kg(rat)
亜急性毒性 : データなし

慢性毒性 :	データなし
がん原性 :	データなし
変異原性(微生物・染色体異常) :	データなし
生殖毒性 :	データなし
催奇形成 :	データなし
その他 :	現在のところ有用な情報なし。

12. 環境影響情報

分解性 :	データなし
濃縮性 :	データなし
魚毒性 :	データなし
その他 :	データなし

13. 廃棄上の注意

- ・ 法律により認可された廃棄物焼却炉などの安全な施設で焼却処理する。焼却の際にシリカ粉が発生する。
- ・ 焼却以外では、硬化させて15cm角以下に切断して埋め立てる。
- ・ その他関係法令の定めるところに従う。

14. 輸送上の注意

《国内輸送》

- ・ 運搬容器及び包装の外部に、品名・数量・危険等級及び「火気厳禁」の表示をする。
- ・ 陸上輸送の場合、運搬時の積み重ねは3m以下とする。
- ・ その他関係法令の定めるところに従う。

《国際輸送》

- ・ 国連番号: 3082
- ・ 国連勧告: 9
- ・ 容器等級: III

15. 適用法令

消防法 :	危険物 第4類 第3石油類	
P R T R 法指定化学物質 :	第1種指定化学物質	政令番号 440
	キュメンヒドロパーオキシド	
	(1-メチル-1-フェニルエチル=ヒドロペルオキシド)	
海洋汚染防止法:	シンボル(魚と木)	

16. その他の情報

【引用文献】

1. ACGIH 化学物質のTLV
2. 化学品安全管理データブック(化学工業日報社)

【記事内容の取扱い】

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合には、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをおすすめします。尚、記載のデータや評価に関してはいかなる保証もなすものではありません。また、記載事項

は通常の手扱を対象としたものですので、特殊な手扱をする場合には新たに用途・用法に適合した安全対策を実施の上、お手扱願います。製品の譲渡時にはMSDSを添付してください。

記載内容の問い合わせ先電話番号：03-3202-0071(代)